

平成22年度文化財総合的把握モデル事業中間報告会

篠山市文化財総合的把握モデル事業概要

「日本の原風景 篠山」

中世を起源とし近世に発展した農村都市の姿、

篠山城下と関連文化財群

平成22年7月28日
篠山市教育委員会 社会教育・文化財課

構想編の構成内容（素案）		項目	内容
. 背景及び目的			構想策定にあたっての基本的事項の整理
	1. 構想策定の背景及び目的		背景と目的整理
	2. 構想策定の体制及び経過		検討にあたっての庁内の体制、委員会・調整会議の設置、調査部会の設置、調査の実施・委員会・調整会議の開催経緯の整理
	3. 構想の位置づけ		総合計画、再生計画、教育振興基本計画のもと、景観計画、歴史的風致維持向上計画と連携
. 市域の概要			篠山市の自然・社会環境の整理
	1. 自然環境	(1) 地形	急峻な山、広がりのある盆地に点在する小丘、突出尾根など
		(2) 地質	貝類化石や集石場などの文化財との関連、防災の視点
		(3) 水系	3水系、谷中分水界など
		(4) 植生	社叢等の貴重植生の分布、山裾の栗植林など
	2. 社会環境	(1) 人口	人口減少と高齢化の地区別状況など
		(2) 産業	農を中心とした産業構造、観光産業の展開など
		(3) 歴史的背景	中世荘園と近世城下町・街道集落の成立など
3. 上位・関連計画及び既存事業		-3の位置づけで示した各計画の概要整理、歴史文化に関連する既存事業の整理	
. 篠山市の歴史文化			文化財総合的把握調査の結果
	1. 調査の目的と方法		調査全体の位置づけ、詳細調査対象の抽出根拠等 : 城下町-街道集落-農村集落の3種類の集落タイプが有機的に関係することで篠山の原風景が作り出されているという仮説のもと、モデル地区における調査を通じ、その有機的関係の実態を明らかにする。
	2. 把握調査の結果	(1) 指定等文化財	指定等文化財の件数、分布、主要な文化財の概要
		(2) 指定等以外の文化財	指定等以外の文化財の件数、分布、主要な文化財の概要
	3. 詳細調査の結果	(1) ~ (5)	各調査の目的・方法、結果
4. 調査のまとめ		章の調査結果に基づく篠山市の歴史文化の特徴の整理	
. 歴史文化を活かしたまちづくりの考え方			基本的な考え方の提示
	1. 基本理念		. 市域の概要、. 篠山市の歴史文化を受け、歴史文化を活かしたまちづくりを進めるための目標像となる基本理念
	2. 基本方針		基本理念を実現するための方針
. 歴史文化を活かしたまちづくりの進め方			施策展開・取り組み内容の提示
	1. 「歴史文化まちづくり資産」の適切な保存・活用の推進		-2基本方針を受け、基本方針ごとに、歴史文化を活かしたまちづくりを進めるための、具体的な方向性・方策を提示する。
	2. 歴史文化を活かしたまちづくりの仕組みの構築		
	3. 制度・事業の連携による総合的な歴史文化を活かしたまちづくりの推進		

歴史文化を活かしたまちづくりの進め方(素案)

1. 「歴史文化まちづくり資産」の適切な保存・活用の推進

暮らしに息づく「歴史文化まちづくり資産」の保存活用

「歴史文化まちづくり資産」の保存活用のための区域の設定

「歴史文化まちづくり資産」を基礎とした防災まちづくり

2. 歴史文化を活かしたまちづくりの仕組みの構築

各主体の役割と主体間の連携

歴史文化を活かしたまちづくりの担い手づくり

「歴史文化まちづくり資産」の情報化

3. 歴史文化を活かしたまちづくりの仕組みの構築

文化財の指定等

総合的な歴史文化を活かしたまちづくり事業の推進

関連計画・制度との連携

歴史文化を活かしたまちづくりを進めていくための新たな制度の創設

計画編の構成内容（素案） 項目	内 容
・篠山市の「歴史文化まちづくり資産群」と「歴史文化保存活用区域」	「歴史文化まちづくり資産群」及び「歴史文化保存活用区域」の考え方
・城下町における保存活用計画	「歴史文化まちづくり資産群」・「歴史文化保存活用区域」の種別（地区レベル）ごとの具体計画（施策展開・事業展開の方向性）の提示
・街道集落における保存活用計画	
・農村集落における保存活用計画	
各委員調査結果の反映	



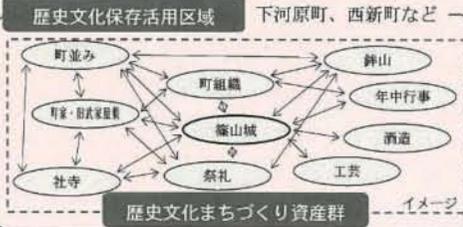
「歴史文化保存活用区域」の考え方

「歴史文化まちづくり資産群」と「歴史文化保存活用区域」

集落の「歴史文化まちづくり資産群」と「歴史文化保存活用区域」

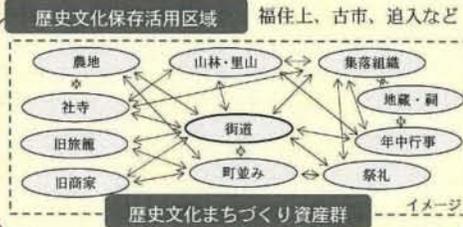
近世に構築された「城下町」

多紀郡中央部に築城・整備された城下町、武家町・商家町・寺社が計画的に配置された領国行政都市として発展した都市景観を現在も継承している。
 ◆核となる文化財：城跡・町並み・祭礼 など



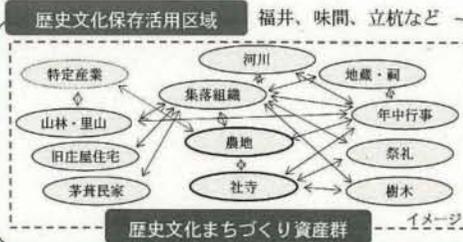
街道筋に発展した「街道集落」

農村文化を母体として、近世以降、街道筋の交流・交易の拠点として街道文化を発展させると同時に、居住域、生産域としての農地、共有林、信仰の対象・水源の山が一体となった都市的集落景観を現在も継承している。
 ◆核となる文化財：町並み・社寺・祭礼 など

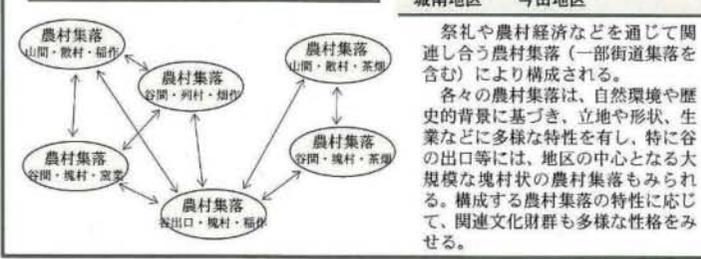
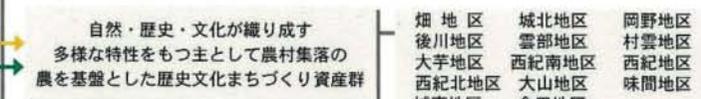
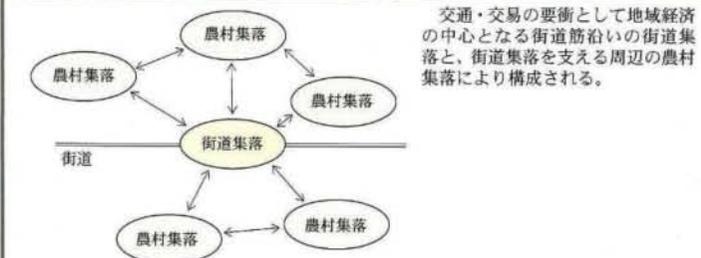
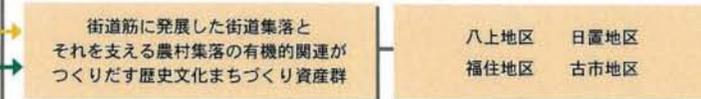
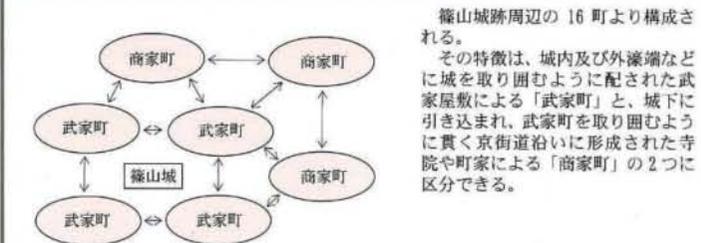
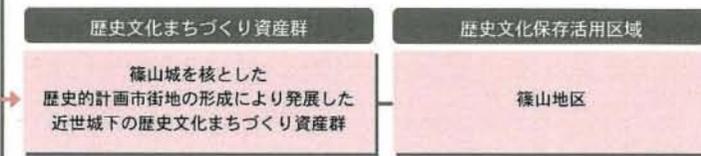


近世・近代の旧村域を維持する「農村集落」

近世・近代の旧村域を空間的、文化的にも維持しながら、集落の核となる文化財と農地、山地、河川等の周辺自然環境が一体となって、製陶、製茶、黒豆生産などの生業とも深く関わった生活景観を現在も継承している。
 ◆核となる文化財：社寺・祭礼 など



地区の「歴史文化まちづくり資産群」と「歴史文化保存活用区域」



市全域の「歴史文化まちづくり資産群」と「歴史文化保存活用区域」

